

クラウド実践テーマ：顧客満足度の向上、従業員満足度の向上、業務効率の改善

業種：建設業（専門塗装業）

企業名：株式会社竹延（大阪府大阪市）

【従業員数：136名】

日本の建設現場をクラウドシステムで見える化し、事務コストを削減。

## 1 経営課題

・塗装職人の勤怠管理は紙資料でやりとりしていたが、書き間違いや提出忘れにより膨大な作業時間を要しており、勤怠管理に係る単純作業を自動化することで、事務側の作業時間を削減したい。

## 2 クラウド実践による課題解決

- ・スマホを使って職人が自分で毎日勤怠入力（勤怠情報や交通費など）をするようになった。
- ・勤怠情報・交通費はエクセルなどで集計していたが、クラウドを使った自動集計にした。
- ・職人全員がスマホを用いた勤怠入力ができるように、2か月をかけて定着化を行った。

## 3 導入したクラウドサービス（導入期間：1年3ヶ月）

- ・株式会社竹延 コネキャリ  
(Salesforce プラットフォーム上で建設業向け勤怠管理システムを自社製作)

## 4 課題解決に向けた組織運営

- ・職人・経理・事務・営業・IT の各部門より代表を選び組織化し、システム開発を行い、実際の業務担当者からヒアリングを行い、実務に耐えうるシステムに仕上げた（ベトナム語にも対応）。
- ・事務員一人一人が入力操作を覚えることで、職人へのマンツーマン指導を行っていける体制をつくり、給与支払いと関連させて職人による利用の定着化を図った。

## 5 実践事例の成果

- ・事務側が、紙で業務をしていた当時と比べて、作業時間では 34%削減、労務費では 100万円削減の効果があつた。
- ・全社員職人が日々入力する状態で 100%の定着率となっている。
- ・削減できた作業時間を用いて、企画作業など新たな仕事に従事することができた。
- ・職人の稼働状況が瞬時にわかるようになった。
- ・職人の手書きでの記入や、会社へ勤怠情報を郵送する手間を省くことができた。
- ・クラウド側勤怠管理システムの社内運用の成果を踏まえ、本年 11 月から外販を開始した。